

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく
賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない
學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

石井大柿梶木清水園武辻中野服藤松武本森山湯吉
 田島村山會水原内村久田部澤尾藤吉
 義島田村山會水原内村久田部澤尾藤吉
 英祐雄好善太義公 又正令義一良都
 祐勉昭一能三郎範一郎 夫明夫明海雄治男晶孫郎

主張する限り、「文字に関して善であるにすぎない」と云える面があると思う。徹底的に心の内面の純粹性を主張しているようにみえて、実際には、そうでないのが、カントの立場であると私は考える。

(19) VI, S. 93—94.

(著者、種智院大学非常勤講師)

前号論文目次

佛身論をめぐるて……………	長尾雅人
マックス・ウェーバーにおける	
東洋哲學の社會學的考察(二)……………	向井守
藝術的價値に關する	
若干の考察……………	物部晃二

次号論文予告

藝術と言語……………	吉岡健二郎
マックス・ウェーバーにおける	
東洋哲學の社會學的考察(三)……………	向井守

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓又は半年一、八〇〇圓）をお拂込下さい
又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地三号創文社（振替口座東京九二四七二番）宛に願います
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい（一年分又は半年分）、會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送付済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に清算します
一、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和四十六年十一月二十五日印刷
昭和四十六年十二月一日發行

編集兼 發行入 京都大學文學部内

木會好能
編集代表

賣捌所 株式會社 創文社

久保井理津男

東京都千代田區一番町一七番地
振替口座 東京 九二四七二番
電話東京二六三二七二〇（代表）

印刷所 中光印刷所

東京都豊島區高田一―二―一四

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價三
五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLV

December, 1971

No 4

Die Grundstruktur der modernen PhilosophieDieter Henrich

Die Bedeutung des Christentums in der Philosophie

HegelsW. Pannenberg

Kants GesinnungsethikKen Wakamatsu

Published Monthly

by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan